

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	3
サポートクラス	グラディエーター	Lv.1:	グラディエーター	性別	女
称号クラス				年齢	20
種族	バステア:リーオ			境遇	天涯孤独
出自(効果)	騎士			目標	戦い好き

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	15	11	13	7	9	12	8
ボーナス	5	3	4	2	3	4	2
クラス修正	1	2	1	0	0	1	1
他修正							
能力値	6	5	5	2	3	5	3

HP	55
MP	40
フェイト	4

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手									
頭部									
胴部									
補助									
装身具									
能力値			5	0	5	0	5	8	11
スキル	ガバィブ					9	2		
その他									
総計(右)			5	0					
総計(左)			5	0	5	9	7	8	11
総計(両)			5	0					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ 2 d
呪歌判定	5			5	+ d
錬金術判定	5			5	+ d

所持品	
枕	
野営道具	
冒険者セット	
獵犬	チャルピオンバルト
HPポーション	
HPポーション	
MPポーション	
MPポーション	
MPポーション	

現在重量: 15
 最大重量: 30
 所持金: 77
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
バステア:リーオ	★	-	バッシュ/メジャー	-	自身	-		
効果: 素手の【攻撃力】を【攻撃力:+CL+4】に変更する。更に、回避判定の達成値に+1する。								
バッシュ	4	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果: 武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]								
インビジビルアタック	1	3	マイナー	-	自身	自動	SL1	
効果: 白兵攻撃の命中判定に+1Dする。この効果はメイブロ終了まで持続する。								
クラン=バル・スタイル	1	-	ラウンド終了時	-	自身	自動	SL1	
効果: 【HP】が【最大HP÷2】点未満の場合、【HP】を【最大HP÷2】点にする。また、戦闘不能から回復した場合も、【HP】を【HP÷2】点にする。								
ガバィブ	2	-	バッシュ	-	自身	-		
効果: 【装備部位:頭部、胴部】の防具を装備していない時に有効。【装備部位:頭部、胴部】の防具を装備していない時に有効。【物理防御力】に+(SL×2+5)、【魔法防御力】に+(SL)する。								
ヒューマナイズ	1	-	-	-	自身	自動	SL1	
効果: 任意の人間種族の姿で登場できる。データは変更されない(装備の制限もそのまま。)不信を感じたキャラクターが<クローバ>を見破ろうとした場合、そのキャラクターの【感知】とあなたの【精神】で対決を行う。この効果はマイナーアクションで解除を宣言するか、シーン終了まで持続する。								
トッゾシフト	1	2	-	-	自身	自動	1回、SL1	
効果: 回避判定と同時に使用する。その判定の達成値に+3する。								
チャルピオン	1	-	-	-	自身	-	-	
効果: チャルピオンバルト(P282)を1個取得する。このアイテムはあなたのみ携帯することができる。								
アスレチック	1	-	バッシュ	-	自身	-	SL1	
効果: 登攀や跳躍を行う【筋力】判定に+1Dする。								
エンターゼリミット	1	-	バッシュ	-	自身	-	SL1	
効果: 携帯品の重量制限が【筋力基本値×2】になる。								
	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

物心付いた時には吹き溜まりの様な場所一人でいた。
 金に困らない事なんて無かったが、クズ共の集まる場所での賭け試合に出ればなんとか生活はしていける。
 戦う事自体は嫌では無かったし、寧ろ好きだったが何年もやっていると飽きもする。
 そんな生活に嫌気がさしていた私に話しかけてくる一人の女性がいた。
 身なりからしてこの国の騎士だろうか？話を聞いてみるとなんと、私が面白そうだから引き取りたいとか。
 初対面に向かって面白そうとは随分と失礼な奴で驚いたが、宿も食事もあるなら断る理由もない。
 ましてやこの吹き溜まりの場所ともおさらばできる。
 よし、暫くお世話になる事にしよう。

と、付いて来たはいいが・・・なんだこの汚い部屋は。
 何かの実験で使うものだろうか？こっちはこっちで脱ぎ捨てられた服もあるし。
 とりあえず足の踏み場が無いと生活できないし掃除から始めよう。
 ご飯もこの人はちゃんとしたものを食べているのだろうか？
 私料理はあまり得意ではないが・・・彼女よりはマシだろう。
 どうやら今日から当面の仕事は家事みたいだ。